

## 第 10 回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第 10 回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 平成 29 年 10～12 月期の業況は「改善」。
- 農水産業は悪化、不動産業は大幅に悪化したものの、その他の業種では改善し、特に建設業と製造業、宿泊・飲食業は大幅に改善し、マイナスからプラスに転じている。
- 平成 30 年 1～3 月期の業況は「やや悪化」する見通し。

### 業況 DI

○今期は 5(良い>悪い)となり、前期(▲10)より改善し、4 期ぶりにプラスに転じた。

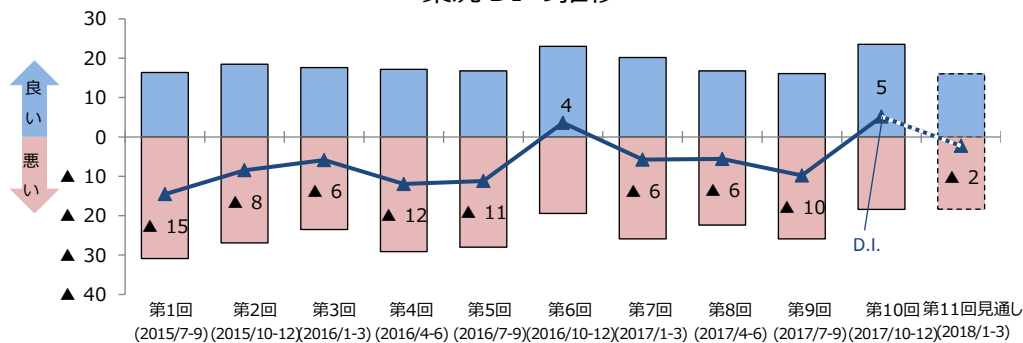
➢ 業種別では、農水産業(前期 14→今期 4)は悪化、不動産業(前期 13→今期▲17)は大幅に悪化したものの、卸売・小売業(前期▲7→今期 0)はやや改善、情報通信業(前期 0→今期 17)は改善し、運輸業(前期▲38→今期▲13)は大幅に改善し、特に建設業(前期▲13→今期 14)と製造業(前期▲18→今期 4)、宿泊・飲食業(前期▲15→今期 27)は大幅に改善し、マイナスからプラスに転じている。

➢ 前年同期(4)と比較すると、横ばいとなっている。

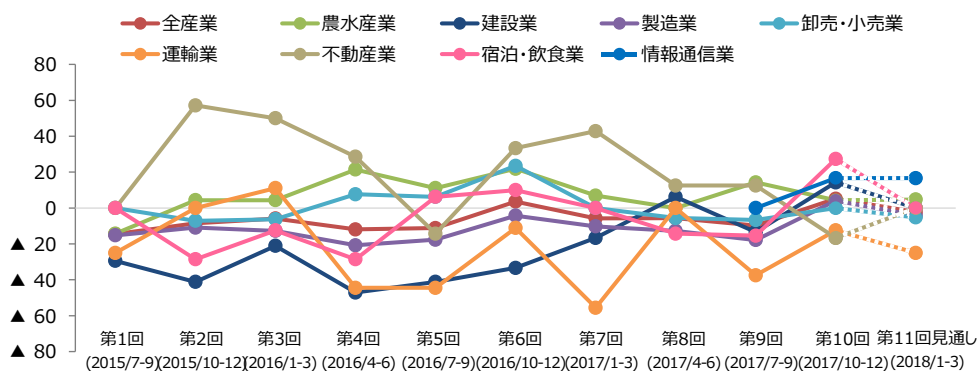
○来期は▲2(良い<悪い)と、やや悪化する見通し。

➢ 業種別では、不動産業(今期▲17→来期 0)は改善、農水産業(今期 4→来期 5)と情報通信業(今期 17→来期 17)は横ばいとなるものの、その他の業種では悪化し、製造業(今期 4→来期▲4)と卸売・小売業(今期 0→来期▲5)はやや悪化、建設業(今期 14→来期 0)と運輸業(今期▲13→来期▲25)は悪化、宿泊・飲食業(今期 27→来期 0)は大幅に悪化する見通し。

業況 DI の推移



業種別業況 DI



※ 上記は、主な DI 値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D I	<p>○今期は 5(良い&gt;悪い)となり、前期(▲10)より改善し、4 期ぶりにプラスに転じた。</p> <p>➢業種別では、農水産業(前期 14→今期 4)は悪化、不動産業(前期 13→今期▲17)は大幅に悪化したものの、卸売・小売業(前期▲7→今期 0)はやや改善、情報通信業(前期 0→今期 17)は改善し、運輸業(前期▲38→今期▲13)は大幅に改善し、特に建設業(前期▲13→今期 14)と製造業(前期▲18→今期 4)、宿泊・飲食業(前期▲15→今期 27)は大幅に改善し、マイナスからプラスに転じている。</p> <p>➢前年同期(4)と比較すると、横ばいとなっている。</p> <p>○来期は▲2(良い&lt;悪い)と、やや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では、不動産業(今期▲17→来期 0)は改善、農水産業(今期 4→来期 5)と情報通信業(今期 17→来期 17)は横ばいとなるものの、その他の業種では悪化し、製造業(今期 4→来期▲4)と卸売・小売業(今期 0→来期▲5)はやや悪化、建設業(今期 14→来期 0)と運輸業(今期▲13→来期▲25)は悪化、宿泊・飲食業(今期 27→来期 0)は大幅に悪化する見通し。</p>
生 産 高 D I	<p>○今期は 9(増加&gt;減少)と、前期(▲8)より上昇した。</p>
売上・完工高 D I	<p>○今期は 9(増加&gt;減少)と、前期(▲11)より大幅に改善した。</p> <p>➢業種別では、情報通信業(前期 0→今期▲14)は悪化したものの、その他の業種では改善し、農水産業(前期▲5→今期 17)と建設業(前期▲13→今期 21)、製造業(前期▲20→今期 2)、宿泊・飲食業(前期▲7→今期 27)は大幅に改善しプラスに転じている。</p> <p>○来期は 0(増加=減少)と、やや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では、情報通信業(今期▲14→来期 29)は大幅に改善するものの、建設業(今期 21→来期▲7)と運輸業(今期 0→来期▲25)、宿泊・飲食業(今期 27→来期 0)は大幅に悪化すると見込まれる。</p>
製品・商品在庫 D I	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が 5%、「適正」が 84%、「不足」が 11%、DI は ▲6(過剰&lt;不足)となり、前期(▲5)とほぼ横ばいとなった。</p>
製(商)品販売単価 D I	<p>○今期は 6(上昇&gt;低下)と、前期(1)よりやや上昇となった。</p> <p>➢業種別では、建設業(前期 6→今期 23)と卸売・小売業(前期▲6→今期 6)が上昇した。一方、宿泊・飲食業は 8 と前期(14)よりやや低下している。</p> <p>○来期は 4(上昇&gt;低下)と、ほぼ横ばいで推移する見通し。</p> <p>➢業種別では、製造業(今期 2→来期▲9)は悪化するものの、卸売・小売業(今期 6→来期 19)は 2 期連続で上昇する見通し。</p>
原材料仕入単価 D I	<p>○今期は 41(上昇&gt;低下)と、前期(34)よりやや上昇した。</p> <p>➢業種別では、運輸業(前期 67→今期 40)と不動産業(前期 60→今期 20)は大幅に低下した。</p> <p>➢一方、卸売・小売業(前期 12→今期 37)は大幅に上昇、宿泊・飲食業も 64 と前期(38)より大幅に上昇しているものの、製(商)品販売単価 DI はやや低下しており、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できていない状況であることがうかがえる。</p> <p>○来期は 41(上昇&gt;低下)と、横ばいで推移する見通し。</p> <p>➢業種別では、情報通信業(今期 17→来期 0)は低下、農水産業(今期 17→来期 32)は上昇する見通し。</p>
資金繰り D I	<p>○今期は 0(楽=苦しい)と、前期(▲9)よりやや改善した。</p> <p>➢業種別では、卸売・小売業(前期 6→今期▲5)は悪化しマイナスに転じた一方、建設業(前期▲13→今期 0)は改善、宿泊・飲食業は 17 と前期(▲31)より大幅に改善しプラスに転じている。</p> <p>○来期は▲5(楽&lt;苦しい)と、やや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では、宿泊・飲食業(今期 17→来期 0)は悪化、建設業は▲14 と再びマイナスに転じる見通し。</p>

概 況	
雇 用 人 員 D I	<p>○今期は▲47(過剰&lt;不足)と、前期(▲48)とほぼ横ばいとなった。</p> <p>▶業種別では、建設業(前期▲69→今期▲64)と製造業(前期▲54→今期▲45)、宿泊・飲食業(前期▲57→今期▲50)はやや改善、卸売・小売業(前期▲41→今期▲32)も改善したが、マイナス圏を脱せず、依然として全ての業種でマイナスとなっている。特に、運輸業は▲88と前期(▲38)から大幅に悪化した。</p> <p>▶ほとんどの業種で「人手不足」との声が挙がっており、「募集をかけても応募がない」状況で、人材確保に苦慮している状況がうかがえる。</p> <p>▶なお、鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の平成29年10～12月の有効求人倍率の平均は1.40倍となっている。12月の有効求人数(パート含む)は3,459人、38か月連続の増加となっている一方、有効求職者数(パート含む)は2,423人となっている。</p> <p>○来期は▲44(過剰&lt;不足)と、やや改善する見通し。</p> <p>▶業種別では、農水産業(今期▲39→来期▲26)と建設業(今期▲64→来期50)で改善する見通しだが、依然として全ての業種がマイナス圏に留まり、労働力不足の状態は続く見込まれる。</p>
損 益 D I	<p>○今期は▲2(好転&lt;悪化)と、前期(▲8)よりやや改善した。</p> <p>▶業種別では、運輸業(前期▲38→今期▲13)は大幅に改善、建設業も7と前期(▲13)より大幅に改善しプラスに転じている。</p> <p>○来期は▲5(好転&lt;悪化)と、やや悪化する見通し。</p> <p>▶業種別では、卸売業(今期▲5→来期5)と不動産業(今期17→来期33)、情報通信業(今期0→来期14)は改善するものの、建設業(今期7→来期▲7)と運輸業(今期▲13→来期▲25)は悪化する見通し。</p>

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 189 先

( 農水産業 39 先、建設業 20 先、製造業 63 先、卸売・小売業 20 先  
 不動産業 8 先、運輸業 12 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先 )

回答数：141 件 回答率：74.6%

2 調査時期： 平成 30 年 1 月

3 対象期間： 平成 29 年 10～12 月期実績(今期)、平成 30 年 1～3 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D I 値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D I 値は「▲40」となります。「D I」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第10回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

(単位：%)

項目	平成29年7～9月				平成29年10～12月					平成30年1～3月					
	前 期				今 期					来 期 見 通 し					
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前回 調査時 今 期	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)		
<b>自社の業況(景況感)</b>	<b>16</b>	<b>58</b>	<b>26</b>	<b>▲10</b>	<b>24</b>	<b>58</b>	<b>18</b>	↑	<b>5</b>	<b>▲6</b>	<b>16</b>	<b>66</b>	<b>18</b>	↓	<b>▲2</b>
農水産業	19	76	5	▲14	26	52	22	↓	4	▲17	19	67	14	↑	5
建設業	0	87	13	▲13	21	71	7	↑	14	▲13	8	85	8	↓	0
製造業	16	50	34	▲18	27	51	22	↑	4	▲12	17	63	21	↓	▲4
卸売・小売業	27	40	33	▲7	16	68	16	↑	0	▲7	11	74	16	↓	▲5
運輸業	0	63	38	▲38	13	63	25	↑	▲13	▲25	0	75	25	↓	▲25
不動産業	25	63	13	▲13	0	83	17	↓	▲17	▲14	17	67	17	↑	0
宿泊・飲食業	23	38	38	▲15	36	55	9	↑	27	▲11	30	40	30	↓	0
情報通信業	14	71	14	0	33	50	17	↑	17	0	33	50	17	-	17
<b>生産高(製造業)</b>	<b>19</b>	<b>55</b>	<b>26</b>	<b>▲8</b>	<b>30</b>	<b>49</b>	<b>21</b>	↑	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>26</b>	<b>54</b>	<b>20</b>	↓	<b>7</b>
<b>売上・完工高</b>	<b>19</b>	<b>51</b>	<b>30</b>	<b>▲11</b>	<b>31</b>	<b>48</b>	<b>22</b>	↑	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>22</b>	<b>57</b>	<b>22</b>	↓	<b>0</b>
農水産業	19	57	24	▲5	30	57	13	↑	17	15	25	70	5	↑	20
建設業	13	63	25	▲13	36	50	14	↑	21	0	14	64	21	↓	▲7
製造業	16	48	36	▲20	30	43	28	↑	2	▲2	22	50	28	↓	▲7
卸売・小売業	35	24	41	▲6	22	56	22	↑	0	▲7	11	72	17	↓	▲6
運輸業	0	75	25	▲25	25	50	25	↑	0	0	13	50	38	↓	▲25
不動産業	43	43	14	29	50	33	17	↑	33	29	33	50	17	↓	17
宿泊・飲食業	21	50	29	▲7	45	36	18	↑	27	▲9	30	40	30	↓	0
情報通信業	14	71	14	0	14	57	29	↓	▲14	0	43	43	14	↑	29
<b>製品・商品在庫 (適正水準比)</b>	<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>	<b>▲5</b>	<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>	<b>↓</b>	<b>▲6</b>						
農水産業	10	80	10	0	5	84	11	↓	▲5						
建設業	7	79	14	▲7	0	92	8	↓	▲8						
製造業	8	79	13	▲6	4	81	15	↓	▲10						
卸売・小売業	19	81	0	19	6	94	0	↓	6						
運輸業	0	75	25	▲25	25	75	0	↑	25						
不動産業	17	50	33	▲17	20	60	20	↑	0						
宿泊・飲食業	7	86	7	0	0	92	8	↓	▲8						
情報通信業	0	20	80	▲80	0	67	33	↑	▲33						
<b>製(商)品販売単価</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>1</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>↑</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>↓</b>	<b>4</b>
農水産業	20	60	20	0	10	80	10	-	0	6	12	82	6	↑	6
建設業	13	81	6	6	23	77	0	↑	23	19	31	62	8	-	23
製造業	4	89	7	▲4	13	77	10	↑	2	2	6	79	15	↓	▲9
卸売・小売業	12	71	18	▲6	19	69	13	↑	6	6	19	81	0	↑	19
運輸業	0	100	0	0	0	100	0	-	0	0	0	100	0	-	0
不動産業	20	80	0	20	20	80	0	-	20	40	20	80	0	-	20
宿泊・飲食業	14	86	0	14	8	92	0	↓	8	9	10	90	0	↑	10
情報通信業	0	100	0	0	0	100	0	-	0	0	0	100	0	-	0
<b>原材料仕入単価</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>3</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>↑</b>	<b>41</b>	<b>44</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>-</b>	<b>41</b>
農水産業	24	67	10	14	30	57	13	↑	17	30	37	58	5	↑	32
建設業	56	44	0	56	71	29	0	↑	71	63	71	29	0	-	71
製造業	40	58	2	38	45	55	0	↑	45	46	37	63	0	↓	37
卸売・小売業	18	76	6	12	42	53	5	↑	37	25	44	56	0	↑	44
運輸業	67	33	0	67	40	60	0	↓	40	67	40	60	0	-	40
不動産業	60	40	0	60	40	40	20	↓	20	60	40	40	20	-	20
宿泊・飲食業	38	62	0	38	64	36	0	↓	64	45	64	36	0	-	64
情報通信業	0	100	0	0	17	83	0	↑	17	20	0	100	0	↓	0
<b>資金繰り</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>▲9</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>↑</b>	<b>0</b>	<b>▲12</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>↓</b>	<b>▲5</b>
農水産業	9	77	14	▲5	21	63	17	↑	4	▲10	19	62	19	↓	0
建設業	0	88	13	▲13	0	100	0	↑	0	▲19	0	86	14	↓	▲14
製造業	7	75	18	▲11	10	78	12	↓	▲2	▲8	8	77	15	↓	▲6
卸売・小売業	18	71	12	6	5	84	11	↓	▲5	0	5	84	11	-	▲5
運輸業	0	75	25	▲25	0	75	25	-	▲25	▲38	0	75	25	-	▲25
不動産業	14	86	0	14	17	83	0	↑	17	0	33	50	17	-	17
宿泊・飲食業	0	69	31	▲31	17	83	0	↑	17	▲45	9	82	9	↓	0
情報通信業	29	43	29	0	14	71	14	-	0	0	14	71	14	-	0
<b>雇用人員</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>▲48</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>↑</b>	<b>▲47</b>	<b>▲47</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>↑</b>	<b>▲44</b>
農水産業	5	62	33	▲29	0	61	39	↓	▲39	▲35	5	63	32	↑	▲26
建設業	0	31	69	▲69	7	21	71	↑	▲64	▲75	14	21	64	↑	▲50
製造業	2	43	55	▲54	4	47	49	↑	▲45	▲48	8	40	52	↑	▲44
卸売・小売業	6	47	47	▲41	5	58	37	↑	▲32	▲44	5	58	37	-	▲32
運輸業	0	63	38	▲38	0	13	88	↓	▲88	▲38	0	13	88	-	▲88
不動産業	0	75	25	▲25	0	67	33	↓	▲33	▲25	0	67	33	-	▲33
宿泊・飲食業	0	43	57	▲57	0	50	50	↓	▲50	▲55	0	45	55	↓	▲55
情報通信業	0	57	43	▲43	0	43	57	↓	▲57	▲43	0	43	57	-	▲43
<b>損益</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>▲8</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>↑</b>	<b>▲2</b>	<b>▲6</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>↓</b>	<b>▲5</b>
農水産業	29	62	10	19	21	63	17	↓	4	5	10	76	14	↓	▲5
建設業	6	75	19	▲13	21	64	14	↑	7	▲13	7	79	14	↓	▲7
製造業	18	54	29	▲11	21	56	23	↓	▲2	▲4	21	49	30	↓	▲9
卸売・小売業	18	65	18	0	5	84	11	↓	▲5	0	16	74	11	↑	5
運輸業	0	63	38	▲38	13	63	25	↑	▲13	▲43	0	75	25	↓	▲25
不動産業	25	63	13	13	33	50	17	↑	17	25	33	67	0	↑	33
宿泊・飲食業	0	71	29	▲29	17	42	42	↑	▲25	▲27	9	55	36	↓	▲27
情報通信業	0	83	17	▲17	14	71	14	↑	0	▲17	29	57	14	↑	14

注)四捨五入の関係上、D I 値(A - C)は一致しない場合がある。